

会合

令和5年度 ASEAN 向け省エネ支援事業 CN 診断中間ミーティングを実施しました

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンターは、資源エネルギー庁の委託を受けて令和6年2月20日本年度の AJEEP(ASEAN-JAPAN Energy Efficiency Partnership)スキーム5活動の一環として CN 診断中間ミーティングを開催し、CN 診断結果を ASEAN 内で共有しました。

- (1) NITTO DENKO Materials (マレーシア) の CN 診断結果報告
- (2) 公立病院 (Phra Nang Klao Public Hospital : タイ) の CN 診断結果報告
- (3) CN プロジェクトスタートアップミーティングの概要説明と今後の計画説明



開講挨拶 (ECCJ)



会議風景

今年度の AJEEP スキーム5 プログラムの一環として、昨年、産業部門でマレーシアの各種粘着テープ製造工場、ビル部門でタイの公立病院を対象に、ASEAN 内で初めて CN 診断を実施しました。今回のミーティングは CN 診断結果を ASEAN 内で共有することを目的に開催され、CN 診断実施者を中心に ASEAN から 15 名、ACE から 4 名、ECCJ から 10 名の合計 29 名が参加しました。マレーシア、タイから CN 診断結果の報告を実施し、ECCJ から資料のアドバイスや講評を実施し、合わせて CN 診断の課題について議論しました。

- (1) マレーシアの NITTO DENKO Materials が CN 診断結果を報告しました。
- (2) 2 件の CN 対策と 7 件の省エネ対策を提案し、現状の CO2 削減目標は 2020 年比 84.3% を設定しました。
- (3) 中長期計画を暫定的に策定し、8 月度に実施するスタートアップミーティングで最終化し、上司承認を得て、CN プロジェクトが開始されます。
- (4) タイの公立病院で実施した ZEB 診断結果について ASEAN トレーナーの DEDE から報告があり、ZEB 改修提案として ZEB モデルを提案できました。
- (5) ポンプのインバータ化やエアーコンプレッサーの台数制御など、現状設備に対する省エネ対策も多数提案できました。
- (6) 8 月に実施する予定の CN プロジェクトスタートアップミーティングで最終的な中長期計画の策定を行い、上司の承認を得て、CN プロジェクトが開始されることを説明しました。
- (7) 今年度の CN 診断は 1 工場・1 ビルで実施しましたが、多数の推薦会社がノミネートされ、今年度の成果を元に広く CN 診断を実施することで、ASEAN での CN 診断が可能な人材を育成し、CN プロジェクト形成による日本企業への裨益に繋がっていきます。

*AJEEP : ASEAN-JAPAN Energy Efficiency Partnership

専門家派遣と受入研修を通じて ASEAN 地域の省エネ人材を育成するプログラム